

事業名

防災まつり♪

事業費（予算額）：500,000 円（まちづくり総合交付金課題解決特別事業：500,000 円）

P 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

田町は市街地であるが、若者が少なく高齢者の占める割合が高い。要支援者の避難支援を高齢者が行わざるを得ないのが現状である。健康で明るく過ごせる地域を目指すとともに、日ごろからの近所同士、町内同士で「顔の見える関係」を作っておくことで、災害等が発生した場合でも助け合える体制を築いておくことが必要である。みんなが安心して、この地域に住んでいて良かったと思えるようなまちづくりを目指している。

D 事業の概要

「子供」や「高齢者」を主役として「防災」をテーマに参加者が一緒になって、災害から身を守る、地域を守ることを考えながら「顔の見える関係」になれるよう「防災まつり♪」を計画して実施した。

①避難所運営ゲーム（HUG：ハグ） 浜田市安全安心推進課の協力を得て、各町内別にグループを作り、問題点を挙げながら体験した。町内により、予想される災害が異なる地域もあるので、同じ条件である近隣住民をグループとして、本番さながらの避難所運営を考えてみた。

②非常食試食会 混ぜご飯やパスタ、おにぎり、けんちん汁等、各種の非常食を試食してもらい、「超美味しい」「美味しい」「美味しくない」をカラーシールで分別してもらうアンケート調査を行った。イベント終了後、アンケートの結果を重視して好評だったものを購入した。

③その他 「防災ガイドブック」と「非常持出し5点セット」を補助金で購入させていただき、参加者全員に配布した。

C 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|
| | | | | | | ○ | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|--|--|

・上記評価の理由

スタッフ30人による反省時のアンケートに基づき総合評価は「7」とした。今回が3回目のイベント開催となったが、参加するメンバーがほぼ一緒だったこと等を考えると今後の課題も多い。次回は1人でも多くの参加者が集まり、助け合い、協力しあえるようなイベントを企画したい。

A 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を10に近づけるために）

- ・今までのイベントは、市へ申請して企画が承認されたからできたものであった。今後は交付金をもらわなくても各町内からの補助金等で賄えるような範囲でのイベントを企画する。
- ・スタッフだけがイベントの企画をするのではなく、各町内の意見を聞いて、無理のない程度に、自分ができることを手伝ってもらえるようにする。

